

学習課題(小学校3年生)

【社会】



<学習内容>「火事からくらしを守る」

◆火事からくらしを守るはたらきについて、教科書92～107ページや地図帳、学校で使っているしりょうなどをさんこうしてとりくみましょう。

(1) 教科書94～95ページの資料④「火事が起きたときの様子」を見て、火事が起きたときに①～④の場所では、それぞれ何をしているか考え、取組シートに書きましょう。

①・③ けいさつかん ② 救急車 ④ 消防士

(2) 札幌市の火事の様子について、下の資料を見て答えましょう。

火災の原因 (2019年)

電気関係	66件	こんろ	59件
たばこ	53件	放火	51件
ストーブ	29件	子どもの火遊び	5件
その他	144件	札幌市「消防のしごと」より	

①一番多い原因は何ですか。

②「子どもの火遊び」は何件ですか。

(3) 火事が起きた時や火事をふせぐために消防しょの人たちが行っている取組について、下の()にあてはまる言葉を□からえらび、書きこみましょう。

消防しょの人たちの取組

- ・火災現場に行ったらすぐに消火活動ができるように、水を出す(① くんれん)や、はしごをのぼして人を救出する(② くんれん)などを日ごろから行っています。
- ・市内で起きた火事の知らせは、119番の電話などで、すべて(③)につながります。
- ・ホテルやデパートなど、人がおおぜい集まる所へ行って、火を使う器具が安全であるか、消火やひなんのためのせつびが整えられているかなど(④)をします。

しょうぼう しらいかんせい ひなん きゅうじょ しょうか
消防指令管制センター 避難 救助 消火 けんさ

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・消火栓や防火水槽など地域にある消防設備を調べたり、消防署の訓練を見学したりすると理解が深まります。ぜひ、地域の消防の様子と一緒に調べてみてください。